

土鍋釜炊飯器 KH-SK300K 取扱説明書

Ver 1.00



- この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- この取扱い説明書をよく読み、ご理解した上でご使用ください。
- 取扱説明書及び、保証書は大切に保管してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

目次

1.はじめに

安全上の注意2
本製品使用上の警告と注意3
電源・電源コード使用上の警告4

2.外観説明

外観と仕様5
-------	--------

3.使い方

6
お米の計量について7
ご使用する前の準備8
メニュー選択	

4.メンテナンス

お手入れの仕方13
---------	---------

5.困ったとき

故障かな?と思ったとき	
-------------	--

保証書

.....	未巻
-------	----

1.はじめに

安全上の注意

記載内容を守っていただけない場合どの程度影響があるかを表しています。



警告

『死亡または重傷を負うおそれがある』内容を示します。



注意

『人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生』が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。



一般禁止

その行為を禁止します。



火気禁止

外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。



接触禁止

特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。



分解禁止

分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水にぬらすことをなどしない。
漏電による感電や発火の可能性を示します。



ぬれ手禁止

*ぬれた手で電源プラグ抜き差しをしない。
*ぬれた手で電源スイッチを触らない。感電や事故の原因

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。



使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。



電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

本製品使用上の警告と注意



警告



- 煙や異臭・異常な音・手で触れないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・やけど・感電の恐れがあります。



- 雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類（電源コード）に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しをおこなわないでください。落雷による感電の恐れがあります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止してください。
- すぐに電源プラグを抜いて販売店へ点検・修理をご依頼ください。
- 電源プラグやコード、本体が異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがしたり、異音や異常な振動する。
- ビニール袋などの梱包材料はお子さまや乳幼児の手の届かない安全な所へ保管してください。窒息事故などを起こす恐れがあります。



- 本機を改造・分解しないでください。感電・発煙・発火の原因になります。



- 本製品を火中に投入・加熱あるいは端子をショートさせたりしないでください。発熱・発火・破裂の原因になります。



- 高温部分に触れない。内なべ、水蒸気噴出口など高温部に使用中、使用後は触れないでください。やけどの原因になります。



- 子供だけで使用しないでください。乳幼児の手の届く所で使用・保管をしないでください。感電や怪我、小さな部品を誤って飲み込み窒息などの恐れがあります。



注意



- 不安定な場所で使用しないでください。落下によるけがや製品の破損の原因になります。
- 水のかかる所や火気の近くで使わないでください。変色・変形・感電・火災の原因になります。
- 壁や家具の近くで使わないでください。壁や家具の汚れの原因になります。

- 炊飯中に移動しないでください。けがや破損の原因になります。
- 空(食材なし)の状態でも運転しないでください。
- 調理中に蓋をあげないでください。



- 移動させる際には、電源プラグを抜いて移動してください。落下によるけがや製品の破損の原因になります。

電源・電源コード使用上の警告



警告



- 電源プラグは根元まで、確実に差し込んでください。
発煙・発火・火災の原因になります。



- 電源コードを取り扱う際は次の点をお守りください。
 - ・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
 - ・つけ根の部分を無理に曲げない
 - ・重いものを載せない
 - ・布などでくるまない
 - ・屋外で使用しない
 - ・水などの液体がかかる場所で使用しない。発煙・発火・火災・感電の原因になります。



- 破損した電源コードは使用しないでください。
電源コードが破損した場合、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が加熱し、火災や感電の原因になります。



- 定格電圧以外で使用しないでください。
- タコ足配線にしないでください。
電源コードをタコ足配線にするとコンセントが加熱し、火災の原因になります。



- 長期間使用しないときは電源コードを抜いてください。
(内釜を取り出しただけでは、電源は切れません)



- 電源コードのプラグにほこりがたまったままの状態では本機を使用しないでください。定期的にはほこりを取り除いてください。
火災の原因になります。



- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。
ぬれた手で触ると、感電の原因になります。

家庭用品品質表示法に基づく表示について

<家庭用品品質表示法に基づく表示>

最大炊飯容量 (L)	0.54
区分名	E
蒸発水量 (g)	36.0
年間消費電力量 (kWh)	82.9
一回あたりの炊飯時消費電力量 (Wh)	220.0
一時間あたりの炊飯時消費電力量 (Wh)	17.0
一時間あたりのタイマー予約時消費電力量 (Wh)	1.0
一時間あたりの待機時消費電力量 (Wh)	1.0

2.外観説明

外観と仕様



<各部名称>

- ①：外蓋
- ②：内蓋（取り外し可能）
- ③：ハンドル
- ④：本体操作パネル

<付属品>

- ・内釜（土鍋釜）
- ・しゃもじ
- ・計量カップ
- ・取り扱い説明書（保証書付き）

製品タイプ	土鍋釜炊飯器
製品名称	KH-SK300K
製品色	ブラック
電源	AC100V（50/60Hz）
消費電力	300W（最大）
温度ヒューズ	167℃
機能	4種類（炊飯、おかゆ、玄米、煮込み）
内釜サイズ	約1500ml
内釜仕様	土鍋釜
最大炊飯容量	0.54L（3合）
コード長	約1.2m
本体サイズ	（幅）230mmX（奥）250mmX（高）250mm
重量	約2.6kg（内釜含む）
付属品	しゃもじ、計量カップ、取り扱い説明書（保証書付き）

3.使い方

お米の計量について

■炊飯器を開けて、内鍋での目盛を確認してください。
目盛は「白米」、「おかゆ」、「玄米」を炊飯する時の水を入れたときの分量になります。

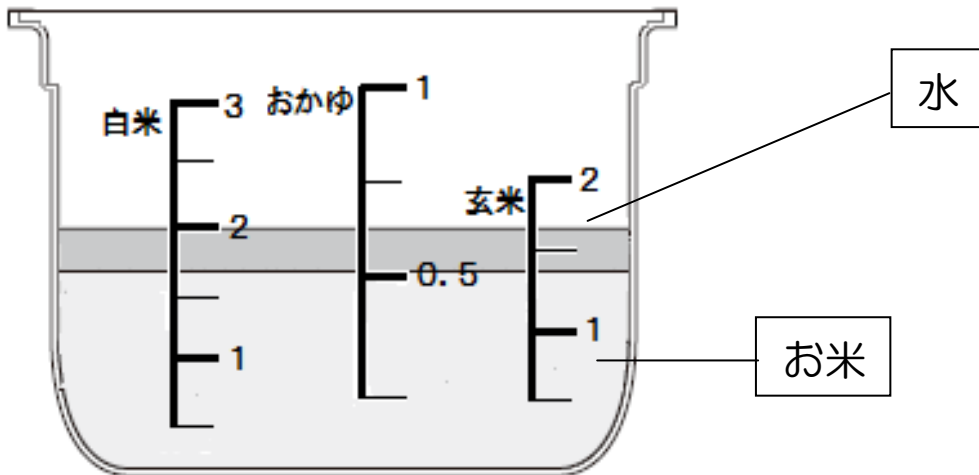
注意：炊飯量について（お米 t 水分量について）

- ・白米：0.5～3合まで（お米：水＝1：1.1～1.2）
- ・おかゆ：0.25～1合まで（お米：水＝1：5）
- ・玄米（100%）：0.5～2合まで（玄米：水＝1：1.5～1.6）

■お米を計る計量カップは1カップ180gになります。

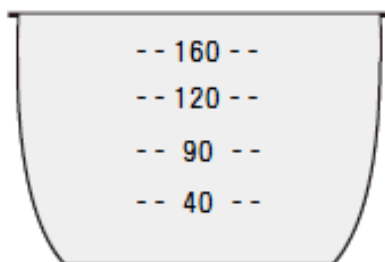
注意：お米を計る時は必ず付属品の計量カップをご使用ください。

参考：下記の図は「白米」を2合炊飯するときの水分量と目盛の位置関係を示したものです。



■米を研ぐ時は、内釜以外の容器を使用してください。
内釜で研ぐと傷がついたり、剥れ、内釜変形などの原因になります。

■研いだお米を内釜に移して水位目盛にあわせて水を入れてください。
水位目盛は目安です。お米の種類や量、炊き方にあったお好みで水分を調整してください。
また、お米の浸水時間を十分にとっていないと、適切な仕上がりにならない場合があります。



■付属品の計量カップの仕様は図のとおりです。
炊飯時は目盛をみて容量を確認してください。

*：1合分のお米の容量は約180gです。付属の計量カップですり切り1杯分となります。

ご使用する前の準備

■電源をいれるまでの手順：

- ① 内釜の外部を乾いた布巾で、水分をよく拭いてから本体にセットしてください。(特に底面に水滴や異物が付いて無いか確認して、取り除いてください。)
- ② 内釜が炊飯器内側の熱板センサーに接触しているか左右に軽くまわしてご確認ください。
- ③ 外蓋を「カチッ」と音がするまでフタをしめてください、この時フックボタンに触れないように気をつけてください。

注意：①～③までの手順が終わる前に電源プラグはコンセントに差し込まないでください。
(内釜を取り出しただけでは、電源は切れません)

■電源プラグの接続

- ① 電源コードの電源プラグ部をコンセントに差し込むと、「ピッ」と通電完了の音がなります。
- ② 操作パネルの液晶部に「- - - -」が表示され、各操作設定ボタンが点灯します。

注意：操作を終了し電源を切る場合は、安全のために電源プラグを抜くことをおすすめいたします。

注意：停電や瞬断でも、設定がリセットされ炊飯がうまく炊けないので、最初からやりなおしてください。

■内蓋の取り外し/取り付け方法

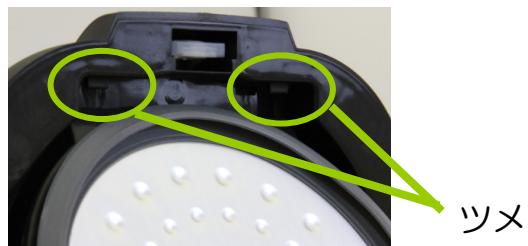
【取り外しについて】

内蓋の下部にある2箇所のボタンを押しながら、手前に引いてください。



【取り付けについて】

内蓋の上部先端を上ぶたの「ツメ」部分にかけてから、下部のボタン部が「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

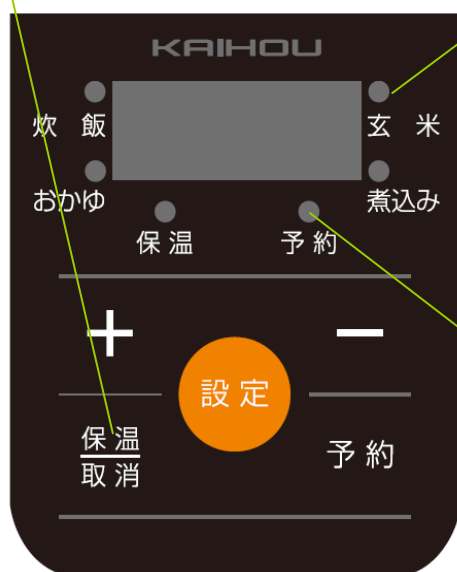


メニュー選択

保温/取消ボタン

炊飯完了後に電源を切った場合などに再度保温をする場合に使います。

また各種炊飯機能などを取り消しする場合には「取り消し（キャンセル）ボタン」としてご利用できます。



機能選択ボタン

「炊飯」 → 「おかゆ」

「玄米」 → 「煮込み」

予約タイマー設定ボタン

「予約ボタン」を押下してから「+・-」ボタンで時間を設定することができます

各種機能概要

機能	基本調理時間	調理時間		保温設定 稼働時間	予約タイマー設定時間	
		設定可能範囲	単位		設定可能範囲	単位
炊飯	45分	30分～2時間	1分	24時間まで	30分～24時間	30分
おかゆ	1時間10分	50分～4時間	1分	24時間まで	30分～24時間	30分
玄米	1時間10分	1時間～4時間	1分	24時間まで	30分～24時間	30分
煮込み	3時間	2時間～4時間	1分	24時間まで	30分～24時間	30分

※：基本調理時間は標準値で、仕上がりを保証するための値ではありません。ご自身のお好みにあわせて調理時間の調整をご活用ください。
 ※：本機は「早炊き機能（高速炊飯モード）」は対応していません。

調理の準備

- 付属の計量カップをご使用ください。
- 内釜にキズや破損を防ぐために、お米は別容器で研いってください。
- 研いだお米を内釜に移して水位目盛にあわせて水の分量を入れてください。（水を入れたら、お米を平らにしてください。）
- 内鍋を本体にいれてください。左右少しに動かして熱板センサーに接触していることを確認してください。
- フタをしめて電源プラグを差し込んでください。

炊飯

【使い方】

- ①内釜の目盛にあわせて適量の水をいれてください。
- ②『設定』ボタンを押して、「炊飯」LEDランプを選択ください。
- ③「炊飯」LEDが点灯して、約5秒後に調理が開始されます。

白米調理時間：30分～2時間（初期値:45分）です。
調理時間を変更するには「設定」ボタン押下後に
すばやく「+・-」ボタンで時間を設定する必要があります。

おかゆ

【使い方】

- ①内釜の目盛を参考にお好みの水量をいれてください。
- ②『設定』ボタンを押して、「おかゆ」LEDランプを選択ください。
- ③「おかゆ」LEDが点灯して、約5秒後に調理が開始されます。

おかゆの炊飯時間：50分～4時間（初期値:1時間10分）です。
調理時間を変更するには「設定」ボタン押下後に
すばやく「+・-」ボタンで時間を設定する必要があります。

玄米

【使い方】

- ①内釜の目盛を参考にお好みの水量をいれてください。
- ②『設定』ボタンを押して、「玄米」LEDランプを選択ください。
- ③「玄米」LEDが点灯して、約5秒後に調理が開始されます。

玄米の炊飯時間：1時間～4時間（初期値:1時間10分）です。
調理時間を変更するには「設定」ボタン押下後に
すばやく「+・-」ボタンで時間を設定する必要があります。

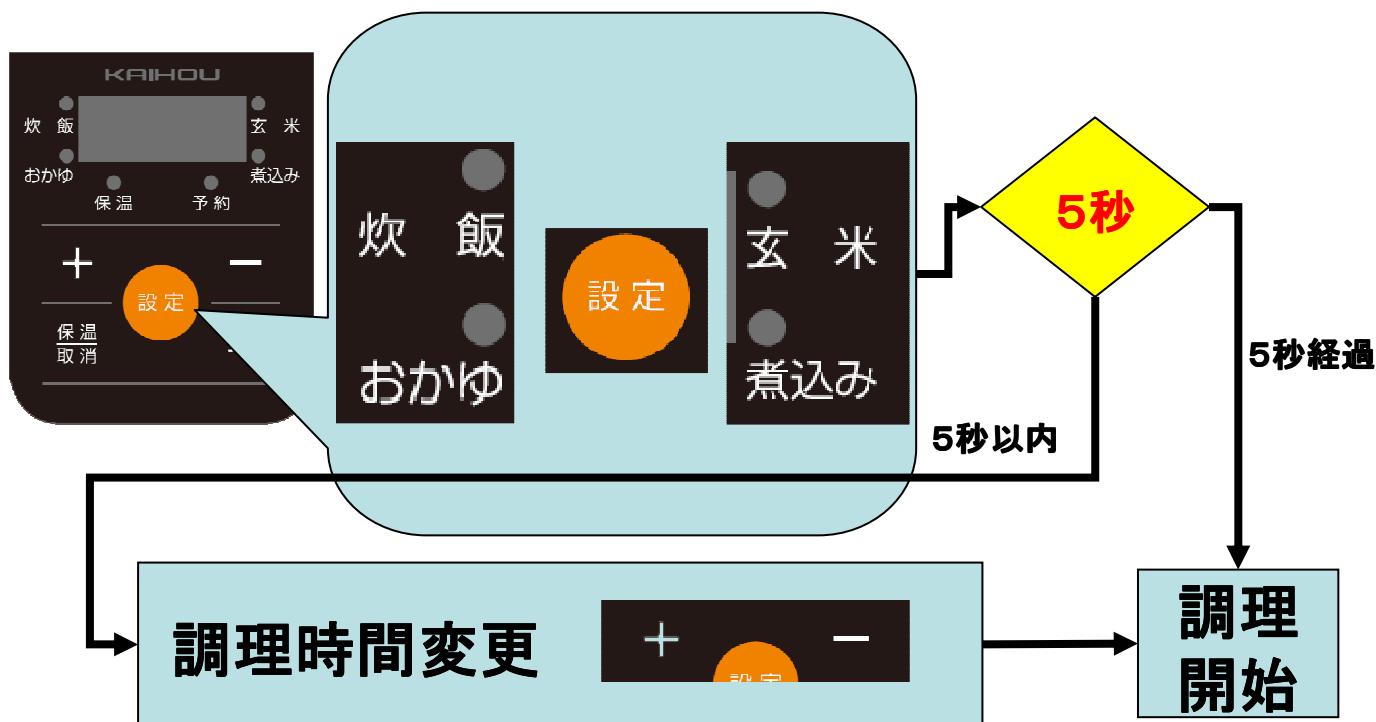
煮込み

【使い方】

- ①内釜の目盛を参考にお好みの水量をいれてください。
- ②『設定』ボタンを押して、「煮込み」LEDランプを選択ください。
- ③「煮込み」LEDが点灯して、約5秒後に調理が開始されます。

煮込みの調理時間：2～4時間（初期値:3時間）です。
調理時間を変更するには「設定」ボタン押下後に
すばやく「+・-」ボタンで時間を設定する必要があります。

調理時間の変更について



調理完了

■調理が完了すると、アラームが鳴り「保温」LEDランプが点灯し、保温状態に自動的に移行します。

補足：炊飯開始から調理設定した時間をカウントダウンしてお知らせします。

補足：炊飯が完了すると「ピー」という警告音が数回なり、炊飯終了後のカウントアップを開始し、保温経過時間が表示されます。

注意：「取消」ボタンを押下したり、電源コンセントを抜くと保温は停止します。再度保温をおこないたい場合は（使用方法説明は11ページを参照ください。）

予約について

『調理機能』を設定する前に『予約』ボタンを設定してください。30分～24時間後（設定単位は30分毎）に調理開始時間を予約設定することができます。

（使用方法説明は12ページを参照ください。）

保温について

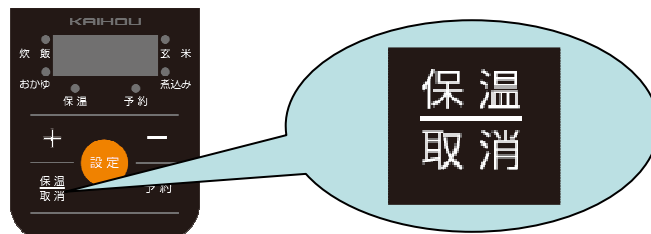
■炊飯完了後の再保温時にご利用できます。

保温稼働時間：最大24時間です。

補足：本機は各調理モード完了時に自動的に保温モードに移行しますが、「取消」ボタンを押したり、電源ケーブルを抜いた場合には保温モードを停止します。一旦停止した保温モードを再開する場合、本機能をご利用いただくことができます。

【使い方】

『保温』ボタンを選択して押してください。操作パネルの「保温メニュー」のLEDランプが点灯し、自動的に保温モードに移行します。



■取消ボタンを押下するとランプ消灯後に再保温機能を停止します。

■保温可能な最大時間である24時間を超えるとアラームが鳴り機能を停止します。

注意：保温機能使用時は約60℃での加熱をすることで、調理した食材の水分の蒸発による乾燥や変色等が促進します。

また食材の風味以外にも、品質の劣化や予期せぬ雑菌等の繁殖などによる影響も考えられます。

調理後はできるだけ早くお召し上がりますように、お願いいたします。

警告：ご使用上におきまして本機の材質以外について、以下に起因する事案での保証はいたしかねます。

- お客様のご利用・設置環境に依存するもの
- 日常のメンテナンス不備によるもの
- 調理方法および食材に依存するもの
- 本機の有する機能であっても、過度な使い方に起因する問題について

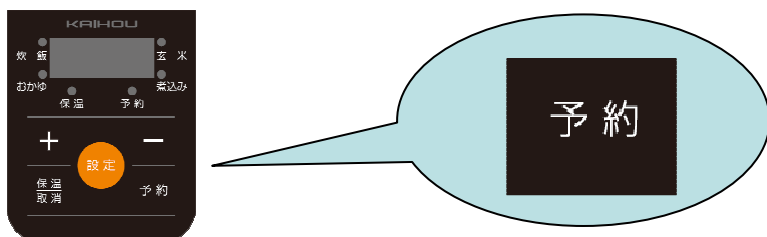
タイマー予約機能について

■各種調理開始時間の予約をする場合にご利用できます。

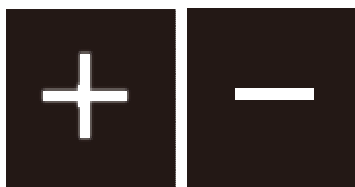
タイマー予約可能時間：30分～24時間（30分毎に設定が可能）

【使い方】

①『予約』ボタンを選択して押してください。



②次に「+・-」ボタンで調理を開始したい時間を設定し、調理をしたい機能を選択してください。



注意：「予約」ボタンを押下してから、なにもしないで5秒を経過すると、設定中の機能は中断され、元の電源起動状態に戻ってしまいます。

③「設定」ボタンでこれから利用する調理モードを選べば、操作はこれで終了です。あとは自動的に設定したタイマーの時間が表示され、予約設定時間のカウントダウンが始まります。

各種調理モードの設定や操作方法については、各調理モードの「使い方」（9～10ページ）をご参照ください。

補足：本機はタイマー設定時間を経過してから選択された調理を開始します。

■取消ボタンを押下するとランプ消灯後に予約時間および選択した調理機能も停止します。

4.メンテナンス

お手入れの仕方

【使うたびに洗うもの】

土鍋釜、計量カップ、内ふた、しゃもじ、背面つゆうけ

- ①水またはぬるま湯で、スポンジ等で洗ってください。
- ②乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

注意：

土鍋釜に食器などを入れ、洗いおけとして使わないでください。また乾燥する時は重ね置き等をしないでください。土鍋釜の傷つきや表面がはがれたりする原因になります。

【汚れるたびにお手入れする箇所】

- 本体の外装および内側の汚れは、かたくしぼった布で拭き取ってください。
- 内側ヒーター部に焦げ付いた米粒などがついている場合は取り除いてください。

注意：

本体内部には、絶対に水が入らないようにしてください。故障や誤動作の原因になります。

5.困ったとき

故障かな？と思ったとき

【やわらかい（べたつく）】

- お米や水は、正確にはかりましたか？
- 割れ米が多く混ざっていませんか？
- 長時間水に浸していませんか？
長時間の予約炊飯などのときは、水を少なめにしてください。
- お米をお湯で研いでませんか？
- 炊き上がったあと、すぐにほぐしましたか？
- 洗米後にざるに上げ、お米にひびが入っていませんか？
- かためのごはんがお好みですか？水を少なめにしてください。

【硬い（芯がある）】

- お米や水は、正確にはかりましたか？
- お米の種類（銘柄や産地など）保存状態により、炊き上がりが異なります。
- 内鍋を本体にセットしたときにかたむいてませんか？
- 水平な所で水位をあわせましたか？
お米の量が多い、水の量が少ないと硬くなります。

【焦げる】

- 精米や洗米は、充分おこなっていますか？
- 熱板センサー、内釜底、汚れや異物は付いてませんか？
- 割れ米が多く混ざっていませんか？
- 調味料を入れて炊いていませんか？（炊込みごはんなど）

【乾燥する】

- 水蒸気ガイドが正しく装着されてフタをしめましたか？
- 水蒸気ガイド、内蓋、熱板センサー、内釜底、汚れや異物は付いてませんか？
- 長時間保温をしていませんか？

保証書

本保証書は製品本体に対してご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本保証書記載内容で無料修理する事をお約束するものです。

修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

【無料修理規定】

- 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料にて修理させていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
 - ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、サポートセンターにご相談ください。
- 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源（電圧、周波数）、などによる故障及び損傷。
 - ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 消耗品、付属品などを他社製品と交換することによる故障及び損傷。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- 本規定の変更

当社は、お客様への事前の通知およびその承諾なしに本規定の内容を変更できるものとします。この場合、本保証書の提供条件は変更後の規定によるものとします。なお、変更後の規定については、当社ホームページにより通知するものとします。

ご購入日	西暦	年	月	日
お客様名				
保証期間	ご購入日より	1年間	S/N	
機種名	KH-SK300K			
ご購入販売店、住所、電話番号				



株式会社 カイハウジャパン
〒192-0903 東京都八王子市万町 10-1
TEL: 042-686-3645 (サポートセンター)
受付時間: 月~金曜日(祝祭日除く) 10時~17時